

けいちゃん議事録5月18日

①懐石料理屋なかむら(21~25歳)

・指示通りのことが出来たかの報告義務があった

出来てないときはかなり怒られた。

酷い時は殴られることも多々あった。

・段取りの悪さで怒られる→不安要素を一つずつ潰す確認作業がないためこのような事が起こる。

②鴨料理屋(25~28歳)

・そこまで怒られたことはない

・唯一はフロアマネージャーに怒られたことは、フロアマネージャーの価値観との差で教育方針(教育の仕方)で怒られることに

③弁当工場(現場主任)※フォーマット規定あり(28~31歳)

・そもそも会話がな

・報告はテンプレ仕様

④たべよし(現在)

・①と同じ状況

【①~③の職業への結論】

けいちゃんの現実的な適正面は③

しかしながら、本人が目指してるのが①な故に、決断力や判断力、環境利用力(臨機応変力)が問われた時、適正面の違いからも2択の選択をミスする傾向にある。

反省・改善

・バイトへの仕込み(商品販売の営業)がない⇒毎日売り出したい商品を伝えてから営業スタートする

・自分から助言を求めて上司へ指示を仰いだのにも関わらず、指示通りに行動しなかった

⇒それが”失礼”な行為ということに気が付かない点や、指示とは違う行動をし判断した上で明確な理由ではなかった

⇒”芯”、”軸”、”正義”がそこにないため、本質の理解に追い付いていない。

⇒大義名分をもつこと(言語化能力も必須事項になる)

【桑田所見】

周りからの信頼を得るためには、依頼・任された仕事を完璧に熟し、継続していくことで培われます。

仕事を完璧に遂行するためには、人を適宜動かし、感謝や謝罪を含め言葉に表さなければなりません。

また、その際の言葉の順序も大切で、間違ってしまうと受け手によっては「自己防衛」に聞こえてしまうことが意図せず起きてしまいます。

まずは、どれだけ自分に非が無くても、謝罪や感謝の言葉から入り、それから状況報告をしましょう。

また、業務を完ぺきにこなす際には、段取りや役割分担を指示しなければ非効率的になり、スムーズな業務遂行が行えません。

業務を任せた相手(従業員)がしっかり指示通り動いているかの確認をしましょう。

不安要素を取り除くために、安心できるところまで詰めて出来る限りの完璧な準備を追い求めましょう。

そして結果がでたとき、周りから、人からの評価が得られ、その背景に目を向けてくれるようになります。

「なぜこの人は任せた仕事を完璧に熟してくれるのか？」

「ここまで繊細に細かなところまでチェックと段取りを怠っていないが故に、完璧なんだ」

と、完璧である傍らに、人が目を向けられるよう日々精進していきましょう。